

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信 特化型	
信託期間	2028年6月13日まで（2013年9月20日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型） 為替ヘッジなしコース （毎月決算型）	アジア・リート・マスター・ファンド（Local Currencyクラス） 受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券
	アジア・リート・マスター・ファンド（Local Currencyクラス）	シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等
	マネー・プール マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	・日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等に投資します。 ・不動産投資信託（リート）等の安定したインカムゲインの確保と、値上がり益、および為替差益の獲得を目指します。 ・シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の不動産投資信託（リート）等に投資を行い（以下、不動産投資信託（リート）等の通貨のことを「原資産通貨」といことがあります。）、原則として原資産通貨について為替取引は行いません。	
主な組入制限	・投資信託証券（上記の受益証券をいいます。）への投資割合には制限を設けません。 ・1発行体等あたりの当ファンドの純資産総額に対する比率は、原則として、25%以内とします。	
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、継続的に分配することをめざします。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

- ◆当ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人資産運用業協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度*が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
- * 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。
- ◆当ファンドは、日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場している不動産投資信託（リート）等に実質的に投資します。当ファンドの投資対象には支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

運用報告書（全体版）

国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）
為替ヘッジなしコース（毎月決算型）



第146期（決算日：2026年1月13日）
第147期（決算日：2026年2月13日）
第148期（決算日：2026年3月13日）
第149期（決算日：2026年4月13日）
第150期（決算日：2026年5月13日）
第151期（決算日：2026年6月15日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに謹んで運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく
お願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル 0120-151034
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期間（過去6ヵ月間）の運用で主眼においたポイントをご説明させていただきます。

配当利回りなどの面で相対的に投資妙味が高いと思われる銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。

【第151期末における主なリート市場への投資のポイント】

◎シンガポール

シンガポール市場は、期間の初めから2026年2月末の米・イスラエルによるイラン攻撃までの期間において、米国の金融緩和政策の継続への期待などから比較的安定的に推移していましたが、3月以降はエネルギー価格の高騰によるインフレ上昇を受けて金融引き締め政策転換への懸念などから軟調な展開となりました。そうした中、物件取得に伴う大規模な増資を発表したオフィスリートが下落する一方、堅調な個人消費を背景に小売リートが底堅い展開となりました。また世界的な人工知能（AI）ブームの中、引き続きデータセンターリートも安定的に推移しました。今後の用途別の見通しについて、小売りはエネルギーコスト上昇の影響はあるものの、世帯収入の増加などを受けてショッピングモールの賃料が上昇していることなどからややポジティブに見ています。オフィスはテクノロジー企業などにおいてAIの普及が雇用に与える影響は依然として不透明ですが、好立地の高級オフィスビルの賃料についてはポジティブに見ています。産業用施設は物件次第ではあるものの全体的に賃料は緩やかな上昇が続いています。データセンターはAIおよびクラウド関連の需要が引き続き堅調ですが、電力確保、納期およびエネルギーコストが依然として制約要因となっています。ホテルは観光需要が堅調であるものの、コスト高の影響が懸念されます。

◎香港

香港市場は、中東情勢の緊迫化の悪影響はあったものの、香港の小売売上高が好調に推移するか、2026年4月以降は堅調に推移しました。また、大手小売リートはプレミアム価格で海外に保有する物件を売却したことなどを好感され、株価は堅調に推移しました。今後の用途別見通しについて、小売りは2026年第1四半期の小売売上高が過去数年で最も力強い回復を示したことなどからややポジティブな見方をしています。オフィスは、賃貸需要は引き続き銀行、金融、保険セクターが牽引する一方、郊外のサブマーケットは依然として厳しい状況です。また、中国による対外投資規制の強化が香港のオフィスに与える影響については注視が必要です。ホテルは、香港へのインバウンド旅行者数は堅調な回復傾向にありますが、客室1室あたりの売上高についてはホテルランクや立地によって依然ばらつきがあります。



イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
アジア株式インカム・チーム
ポートフォリオ・マネジャー
チュン・キョン・オン

（注）上記は、アジア・リート・マスター・ファンドの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 税 分	価 込 配	額 み 金	期 騰 落	率 中 率	債 組 入	率 比 率	債 先 物	率 比 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 総 額
	円			円		%		%		%	%	百万円
122期(2024年1月15日)	8,327			50		4.5		—		—	99.1	8,448
123期(2024年2月13日)	8,073			50	△	2.4		—		—	99.4	7,842
124期(2024年3月13日)	7,815			50	△	2.6		—		—	99.0	7,392
125期(2024年4月15日)	7,656			50	△	1.4	0.0			—	99.0	6,844
126期(2024年5月13日)	7,797			50		2.5	0.0			—	99.0	6,586
127期(2024年6月13日)	7,535			50	△	2.7	0.0			—	99.2	6,219
128期(2024年7月16日)	8,035			50		7.3	0.0			—	99.2	6,403
129期(2024年8月13日)	7,465			50	△	6.5	0.0			—	99.0	5,933
130期(2024年9月13日)	7,925			50		6.8	0.0			—	99.0	6,327
131期(2024年10月15日)	8,168			30		3.4	0.0			—	99.0	6,349
132期(2024年11月13日)	7,728			30	△	5.0	0.0			—	98.7	5,888
133期(2024年12月13日)	7,415			30	△	3.7	0.0			—	98.4	5,432
134期(2025年1月14日)	7,467			30		1.1	0.0			—	99.1	5,344
135期(2025年2月13日)	7,423			30	△	0.2	0.0			—	98.5	5,194
136期(2025年3月13日)	7,416			30		0.3	0.0			—	99.1	5,081
137期(2025年4月14日)	6,758			30	△	8.5	0.0			—	99.2	4,528
138期(2025年5月13日)	7,417			30		10.2	0.0			—	99.0	4,907
139期(2025年6月13日)	7,481			30		1.3	0.0			—	98.6	4,779
140期(2025年7月14日)	7,799			30		4.7	0.0			—	99.1	4,869
141期(2025年8月13日)	8,036			30		3.4	0.0			—	99.0	4,792
142期(2025年9月16日)	8,324			30		4.0	0.0			—	99.1	4,896
143期(2025年10月14日)	8,449			30		1.9	0.0			—	99.0	4,858
144期(2025年11月13日)	8,605			30		2.2	0.0			—	98.5	4,845
145期(2025年12月15日)	8,380			30	△	2.3	0.0			—	99.0	4,650
146期(2026年1月13日)	8,658			30		3.7	0.0			—	99.4	4,726
147期(2026年2月13日)	8,615			30	△	0.2	0.0			—	95.5	4,634
148期(2026年3月13日)	8,472			30	△	1.3	0.0			—	99.0	4,548
149期(2026年4月13日)	8,567			30		1.5	0.0			—	99.1	4,474
150期(2026年5月13日)	8,547			30		0.1	0.0			—	99.1	4,371
151期(2026年6月15日)	8,465			30	△	0.6	0.0			—	99.4	4,210

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率			
第146期	(期 首)	円	%	%	%	%
	2025年12月15日	8,380	—	0.0	—	99.0
	12月末	8,518	1.6	0.0	—	99.0
	(期 末)					
第147期	2026年1月13日	8,658	—	0.0	—	99.4
	1月末	8,576	△0.9	0.0	—	99.3
	(期 末)					
	2026年2月13日	8,645	△0.2	0.0	—	95.5
第148期	(期 首)					
	2026年2月13日	8,615	—	0.0	—	95.5
	2月末	8,875	3.0	0.0	—	99.1
	(期 末)					
第149期	2026年3月13日	8,502	△1.3	0.0	—	99.0
	(期 首)					
	2026年3月13日	8,472	—	0.0	—	99.0
	3月末	8,227	△2.9	0.0	—	99.4
第150期	(期 末)					
	2026年4月13日	8,597	1.5	0.0	—	99.1
	(期 首)					
	2026年4月13日	8,567	—	0.0	—	99.1
第151期	4月末	8,691	1.4	0.0	—	99.3
	(期 末)					
	2026年5月13日	8,577	0.1	0.0	—	99.1
	(期 首)					
第151期	2026年5月13日	8,547	—	0.0	—	99.1
	5月末	8,517	△0.4	0.0	—	99.0
	(期 末)					
	2026年6月15日	8,495	△0.6	0.0	—	99.4

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第146期～第151期：2025年12月16日～2026年6月15日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第146期首	8,380円
第151期末	8,465円
既払分配金	180円
騰落率	3.2%

（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ3.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因

上昇要因

香港のリート価格が上昇したことや、シンガポールドルや香港ドルが円に対して上昇したことなどが、基準価額のプラスに寄与しました。

個別銘柄では、「LINK REIT」の上昇などが基準価額のプラスに寄与しました。

下落要因

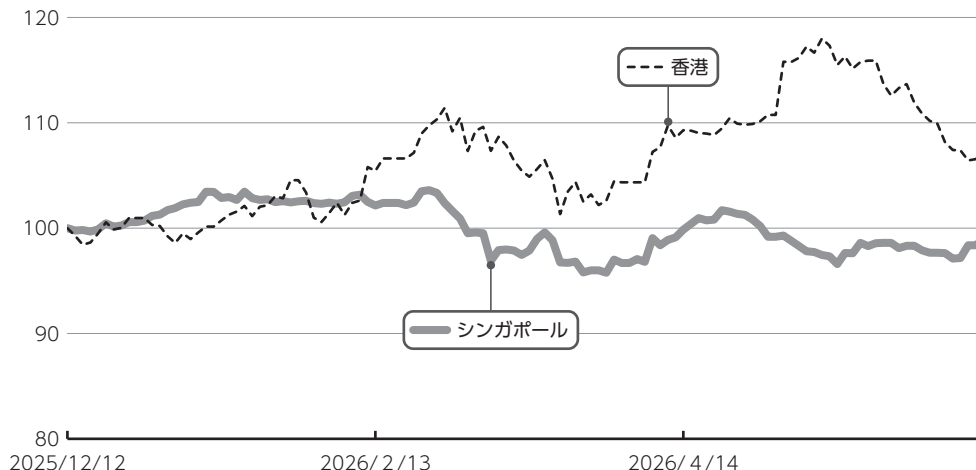
シンガポールのリート価格が下落したことなどが、基準価額のマイナスに作用しました。

個別銘柄では、「CAPITALAND ASCENDAS REIT」の下落などが基準価額のマイナスに作用しました。

第146期～第151期：2025年12月16日～2026年6月15日

投資環境について

アジア・リート市況の推移（当作成期首を100として指数化）



(注) グラフはS & PグローバルREIT指数のうち、上記2ヵ国・地域の各指数（現地通貨建配当込み）を使用しています。

(注) S & PグローバルREIT指数とは、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが有する各株価指数の採用銘柄の中から、原則として不動産投資信託（REIT）および同様の制度に基づく銘柄の浮動株修正時価総額に基づいて算出される指数です。同指数はS & Pダウ・ジョーンズ・インデックス（S & P DJI）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJアセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P DJIは、同指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任を負いません。

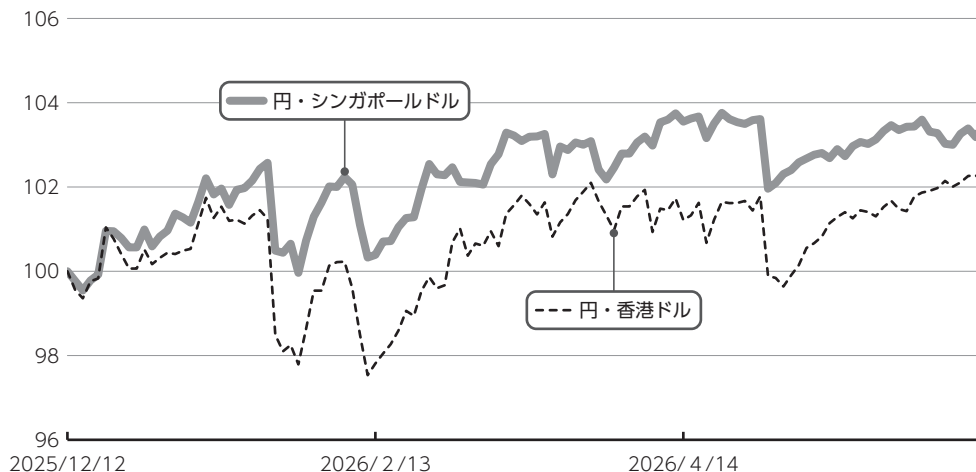
(注) 現地日付ベースで記載しております。

▶ アジア・リート市況 アジア・リート市場は、当期間を通して まちまちとなりました。

シンガポール市場は、2026年4月のコアインフレ率が3月比で低下し、市場予想も下回ったことから賃料上昇余地の鈍化が懸念されたことなどを背景に下落しました。香港市場は、2026年3月の小売売上が2025年3月比で大きく増加し、個人消費の回復が確認されたことなどを背景

に、小売関連銘柄を中心に上昇しました。

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



（注）現地日付ベースで記載しております。

▶ 為替市況

当期間を通してみると、原資産通貨であるシンガポールドルと香港ドルは対円で上昇しました。

シンガポールドルは、シンガポール通貨金融庁（MAS）が中東情勢の悪化に伴うエネルギー価格上昇を背景に、消費者物価指数（CPI）上昇率見通しを引き上げるとともに、金融政策を引き締め方向へ転換したことなどから、当期間を通じて対円で上昇しました。

香港ドルについては、ドルペッグ制（米ドルとの為替レートを一定に保つ制度）を採用していることから、当期間の米ドルの堅調な動きにつられて、当期間を通じて対円で上昇しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）為替ヘッジなしコース（毎月決算型）

当期間を通じて、円建の外国投資信託であるアジア・リート・マスター・ファンド（Local Currencyクラス）受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

▶ アジア・リート・マスター・ファンド（Local Currencyクラス）

主としてシンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）しているリート等に投資しました。

国債利回りと比較して、配当利回りに妙味があると判断した銘柄を中心に投資を行いました。

2024年度に導入した機動的なポジション調整の実践を進めるとともに、市場全体や主要リート銘柄との相関の低い銘柄の組み入れやIPO銘柄の活用を通じて、市況変動への対応力向上を図りました。なお、IPO銘柄については既存銘柄とは異なる成長ドライバーや需給要因に基づく値動きが期待されることから、市場全体の動きに対する分散効果や超過収益

源泉としての活用を企図したものです。銘柄入替のポイントは以下の通りです。

売買動向

「FORTUNE REIT」などを全売却しました。

▶ マネー・プール マザーファンド コール・ローン等短期金融商品を活用し、 利子等収益の確保を図りました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第146期 2025年12月16日～ 2026年1月13日	第147期 2026年1月14日～ 2026年2月13日	第148期 2026年2月14日～ 2026年3月13日	第149期 2026年3月14日～ 2026年4月13日	第150期 2026年4月14日～ 2026年5月13日	第151期 2026年5月14日～ 2026年6月15日
当期分配金 （対基準価額比率）	30 (0.345%)	30 (0.347%)	30 (0.353%)	30 (0.349%)	30 (0.350%)	30 (0.353%)
当期の収益	30	29	30	30	29	30
当期の収益以外	－	0	－	－	0	－
翌期繰越分配対象額	3,014	3,013	3,017	3,021	3,021	3,022

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ 国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）為替ヘッジなしコース（毎月決算型）

引き続き、円建の外国投資信託であるアジア・リート・マスター・ファンド（Local Currencyクラス）受益証券に投資を行います。また、マネー・プールマザーファンド受益証券への投資も行います。

改善に向けた改善策の検討を行ってまいります。

▶ マネー・プール マザーファンド

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

▶ アジア・リート・マスター・ファンド（Local Currencyクラス）

引き続き、主としてシンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）しているリート等に投資を行います。

ポートフォリオの構築にあたっては、市場価格が個別銘柄の適正価格を正しく反映していない結果生じている割安度合いなどを重視する方針です。

本ファンドは、高利回りで強固なバランスシートを持つ品質の高い銘柄に投資を続けています。今後も、市場価格が個別銘柄の価値を正しく反映していない結果生じている割安度合いなどを分析し、ポートフォリオを構築する方針です。

引き続き、運用状況につき注意深くモニタリングしつつ、更なるパフォーマンス

2025年12月16日～2026年6月15日

> 1万口当たりの費用明細

項目	第146期～第151期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信 託 報 酬	53	0.620	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(16)	(0.192)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(35)	(0.412)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)そ の 他 費 用	0	0.005	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.005)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	53	0.625	

作成期中の平均基準価額は、8,565円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

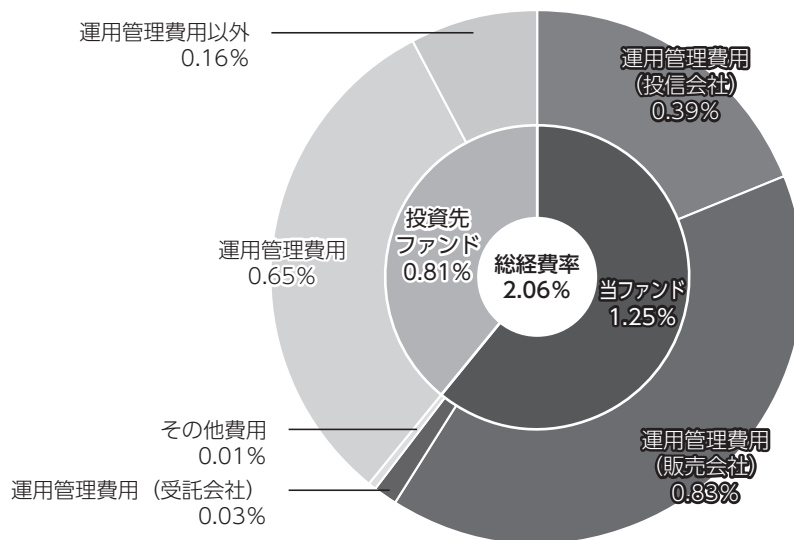
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.06%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.06
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.25
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.65
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.16

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年12月16日～2026年6月15日)

投資信託証券

銘	柄	第146期～第151期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	アジア・リート・マスター・ファンド (Local Currencyクラス)	千口	千円	千口	千円
		330,919	289,323	871,190	757,820

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2025年12月16日～2026年6月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年6月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第145期末	第151期末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
	アジア・リート・マスター・ファンド (Local Currencyクラス)	5,422,756	4,882,485	4,186,243	99.4
	合 計	5,422,756	4,882,485	4,186,243	99.4

(注) 比率は国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）為替ヘッジなしコース（毎月決算型）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	第145期末	第151期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
	マネー・プール マザーファンド	99	99	100

○投資信託財産の構成

(2026年6月15日現在)

項 目	第151期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 4,186,243	% 98.2
マネー・ブール マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	77,399	1.8
投資信託財産総額	4,263,742	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末	第150期末	第151期末
	2026年1月13日現在	2026年2月13日現在	2026年3月13日現在	2026年4月13日現在	2026年5月13日現在	2026年6月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	4,747,274,038	4,656,507,272	4,570,127,864	4,568,019,626	4,425,926,293	4,263,742,060
コール・ローン等	48,851,896	231,539,316	65,085,186	134,502,369	96,043,613	77,396,391
投資信託受益証券(評価額)	4,698,320,639	4,424,862,808	4,504,940,730	4,433,413,888	4,329,780,000	4,186,243,284
マネー・ブール マザーファンド(評価額)	100,548	100,617	100,677	100,737	100,797	100,866
未収利息	955	4,531	1,271	2,632	1,883	1,519
(B) 負債	21,030,286	21,558,716	21,338,493	93,665,610	54,772,432	52,764,319
未払収益分配金	16,375,729	16,139,339	16,107,694	15,668,595	15,341,947	14,924,474
未払解約金	49	390,335	746,720	73,227,306	34,818,516	32,964,928
未払信託報酬	4,613,689	4,984,938	4,444,754	4,727,880	4,571,523	4,832,168
その他未払費用	40,819	44,104	39,325	41,829	40,446	42,749
(C) 純資産総額(A－B)	4,726,243,752	4,634,948,556	4,548,789,371	4,474,354,016	4,371,153,861	4,210,977,741
元本	5,458,576,402	5,379,779,829	5,369,231,431	5,222,865,304	5,113,982,501	4,974,824,947
次期繰越損益金	△ 732,332,650	△ 744,831,273	△ 820,442,060	△ 748,511,288	△ 742,828,640	△ 763,847,206
(D) 受益権総口数	5,458,576.402口	5,379,779.829口	5,369,231.431口	5,222,865.304口	5,113,982.501口	4,974,824.947口
1万口当たり基準価額(C/D)	8.658円	8.615円	8.472円	8.567円	8.547円	8.465円

○損益の状況

項 目	第146期	第147期	第148期	第149期	第150期	第151期
	2025年12月16日～ 2026年1月13日	2026年1月14日～ 2026年2月13日	2026年2月14日～ 2026年3月13日	2026年3月14日～ 2026年4月13日	2026年4月14日～ 2026年5月13日	2026年5月14日～ 2026年6月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	21,253,338	20,988,605	22,583,928	19,224,000	19,868,974	20,314,398
受取配当金	21,225,107	20,956,786	22,521,506	19,193,768	19,838,871	20,279,335
受取利息	28,231	31,819	62,422	30,232	30,103	35,063
(B) 有価証券売買損益	151,588,144	△ 22,890,815	△ 79,147,999	50,784,477	△ 9,839,698	△ 41,742,532
売買益	201,279,317	16,811,690	71,137	142,950,354	31,187,358	36,891,846
売買損	△ 49,691,173	△ 39,702,505	△ 79,219,136	△ 92,165,877	△ 41,027,056	△ 78,634,378
(C) 信託報酬等	△ 4,654,508	△ 5,029,042	△ 4,484,079	△ 4,769,709	△ 4,611,969	△ 4,874,917
(D) 当期損益金(A+B+C)	168,186,974	△ 6,931,252	△ 61,048,150	65,238,768	5,417,307	△ 26,303,051
(E) 前期繰越損益金	△ 399,079,716	△ 243,300,394	△ 265,245,391	△ 332,507,323	△ 276,578,038	△ 278,249,473
(F) 追加信託差損益金	△ 485,064,179	△ 478,460,288	△ 478,040,825	△ 465,574,138	△ 456,325,962	△ 444,370,208
(配当等相当額)	(1,619,023,686)	(1,595,696,046)	(1,592,627,144)	(1,549,257,476)	(1,517,008,048)	(1,475,776,447)
(売買損益相当額)	(△2,104,087,865)	(△2,074,156,334)	(△2,070,667,969)	(△2,014,831,614)	(△1,973,334,010)	(△1,920,146,655)
(G) 計(D+E+F)	△ 715,956,921	△ 728,691,934	△ 804,334,366	△ 732,842,693	△ 727,486,693	△ 748,922,732
(H) 収益分配金	△ 16,375,729	△ 16,139,339	△ 16,107,694	△ 15,668,595	△ 15,341,947	△ 14,924,474
次期繰越損益金(G+H)	△ 732,332,650	△ 744,831,273	△ 820,442,060	△ 748,511,288	△ 742,828,640	△ 763,847,206
追加信託差損益金	△ 485,064,179	△ 478,460,288	△ 478,040,825	△ 465,574,138	△ 456,325,962	△ 444,370,208
(配当等相当額)	(1,619,023,686)	(1,595,696,046)	(1,592,627,144)	(1,549,257,476)	(1,517,008,048)	(1,475,776,447)
(売買損益相当額)	(△2,104,087,865)	(△2,074,156,334)	(△2,070,667,969)	(△2,014,831,614)	(△1,973,334,010)	(△1,920,146,655)
分配準備積立金	26,324,412	25,722,250	27,605,769	29,053,786	28,315,909	28,015,288
繰越損益金	△ 273,592,883	△ 292,093,235	△ 370,007,004	△ 311,990,936	△ 314,818,587	△ 347,492,286

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 5,548,937,670円
 作成期中追加設定元本額 57,640,554円
 作成期中一部解約元本額 631,753,277円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.8465円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は763,847,206円です。

③分配金の計算過程

項 目	2025年12月16日～ 2026年1月13日	2026年1月14日～ 2026年2月13日	2026年2月14日～ 2026年3月13日	2026年3月14日～ 2026年4月13日	2026年4月14日～ 2026年5月13日	2026年5月14日～ 2026年6月15日
費用控除後の配当等収益額	20,680,885円	15,959,620円	18,099,907円	17,914,299円	15,257,064円	15,439,543円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	1,619,023,686円	1,595,696,046円	1,592,627,144円	1,549,257,476円	1,517,008,048円	1,475,776,447円
分配準備積立金額	22,019,256円	25,901,969円	25,613,556円	26,808,082円	28,400,792円	27,500,219円
当ファンドの分配対象収益額	1,661,723,827円	1,637,557,635円	1,636,340,607円	1,593,979,857円	1,560,665,904円	1,518,716,209円
1万口当たり収益分配対象額	3,044円	3,043円	3,047円	3,051円	3,051円	3,052円
1万口当たり分配金額	30円	30円	30円	30円	30円	30円
収益分配金金額	16,375,729円	16,139,339円	16,107,694円	15,668,595円	15,341,947円	14,924,474円

○分配金のお知らせ

	第146期	第147期	第148期	第149期	第150期	第151期
1 万口当たり分配金（税込み）	30円	30円	30円	30円	30円	30円

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

*三菱ＵＦＪアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に記載変更を行いました。

一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(2026年4月1日)

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）為替ヘッジなしコース（毎月決算型）が投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	アジア・リート・マスター・ファンド (Local Currencyクラス)
運用方針及び投資制限	1. 日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等に投資を行います。 ・不動産投資信託（リート）等の組入比率は原則として高位を保ちます。 2. シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の不動産投資信託（リート）等に投資を行います（以下、投資先ファンドが投資を行う不動産投資信託（リート）等の通貨のことを「原資産通貨」ということがあります。）。アジア・リート・マスター・ファンド (Local Currencyクラス) における為替取引は、原則として原資産通貨について為替取引は行いません。 3. 投資対象国・地域における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等の場合をいいます。）の発生を含む市況動向や資金動向、残存信託期間等の事情によっては、前記のような運用ができない場合があります。 4. 1発行体等あたりの純資産総額に対する比率は、原則として、25%以内とします。
投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド (Eastspring Investments (Singapore) Limited)
信託期限	無期限
設 定 日	2013年9月20日
会 計 年 度 末	毎年8月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

「イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド」について
 イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッドは、1994年10月にシンガポールにおいて設立された運用会社です。アジア・アフリカ地域を中心に金融サービスを展開する英国ブルーデンシャル社のアジアにおける資産運用事業部門であるイーストスプリング・インベストメンツ・グループに所属しており、グループ内のアジア各国・地域の運用会社と連携して運用を行っています。
 英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

アジア・リート・マスター・ファンド

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

(2025年8月29日に終了する期間)

(米ドルで表示)

投資収益

受取配当金（源泉徴収税控除後）	\$	8,100,848
利息		7,555
その他の収益		137,476
投資収益合計		8,245,879

費用

運用受託報酬		859,840
保管費用		188,594
会計処理および管理手数料		121,299
専門家報酬		25,713
名義書換事務代行手数料		18,963
受託者報酬		9,973
登録料		6,572
その他の費用		514
費用合計		1,231,468

投資純利益		7,014,411
--------------	--	------------------

実現および未実現損益：

実現損益：

投資有価証券	(25,709,578)
外国通貨取引および為替予約取引	(1,076,310)
実現純損益	(26,785,888)

未実現評価損益の純変動：

投資有価証券	25,269,994
外国通貨取引および為替予約取引	(1,536,524)
未実現評価損益の純変動	23,733,470

実現および未実現損益（純額）	(3,052,418)
-----------------------	--------------------

運用による純資産の増減（純額）	\$ 3,961,993
------------------------	---------------------

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 純資産変動計算書

(2025年8月29日に終了する期間)

(米ドルで表示)

運用による純資産の増減額：

投資純損益	\$	7,014,411
実現純損益		(26,785,888)
未実現評価損益の純変動		23,733,470
運用による純資産の増減額		3,961,993

分配額	(12,488,726)
ファンドユニットの取引による純資産の増減額	(45,461,755)
純資産の増減額	(53,988,488)

純資産

期首	190,330,709
期末	\$ 136,342,221

	IDRクラス	INRクラス	JPYクラス
ファンドユニット取引			
ユニット数			
発行	20,123,955	—	17,809,917
買戻し	101,220,997	3,211,573,499	69,550,084
償還	(381,749,060)	(13,280,117,840)	(946,272,602)
ユニット増減数	(260,404,108)	(10,068,544,341)	(858,912,601)
金額			
発行	\$ 71,260	\$ —	\$ 60,831
買戻し	331,307	9,831,895	206,240
償還	(1,253,543)	(40,575,892)	(2,744,801)
ファンドユニット取引による増減額	\$ (850,976)	\$ (30,743,997)	\$ (2,477,730)

Local Currency クラス

ファンドユニット取引

ユニット数

発行	—
買戻し	410,164,482
償還	(2,597,593,053)
ユニット増減数	(2,187,428,571)

金額

発行	\$ —
買戻し	2,119,284
償還	(13,508,336)
ファンドユニット取引による増減額	\$ (11,389,052)

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

3. 投資明細表

(2025年8月29日現在)

(米ドルで表示)

投資口数	銘柄名	純資産比率	公正価値
	COMMON STOCKS (97.9%)		
	HONG KONG (16.4%)		
	REITS* (16.4%)		
427,000	Fortune		\$ 264,005
4,165,344	Link		22,141,505
			22,405,510
	TOTAL HONG KONG (Cost \$29,771,114)		22,405,510
	MALAYSIA (3.1%)		
	REITS* (3.1%)		
5,048,600	IGB		3,226,325
2,527,700	Pavilion		1,029,028
			4,255,353
	TOTAL MALAYSIA (Cost \$3,875,285)		4,255,353
	SINGAPORE (77.2%)		
	REITS* (77.2%)		
8,632,938	CapitaLand Ascendas		18,302,098
4,568,085	CapitaLand India Trust		4,201,357
12,677,300	CapitaLand Integrated Commercial Trust		22,528,639
2,516,200	Digital Core Management Pte. Ltd.		1,283,262
3,412,392	Frasers Centrepoint Trust		6,197,095
9,712,460	Frasers Logistics & Commercial Trust		6,888,806
4,966,092	Keppel DC		9,134,822
6,753,600	Lendlease Global Commercial		3,158,348
3,837,275	Mapletree Industrial Trust		6,161,174
9,102,888	Mapletree Logistics Trust		8,655,903
6,110,345	Mapletree Pan Asia Commercial Trust		6,572,312
2,150,000	NTT DC		2,021,000
1,516,900	Parkway Life		4,989,336
4,951,800	Suntec		5,094,603
			105,188,755
	TOTAL SINGAPORE (Cost \$106,196,091)		105,188,755
	THAILAND (1.2%)		
	REITS* (1.2%)		
4,771,600	CPN Retail Growth Leasehold		1,605,508
	TOTAL THAILAND (Cost \$1,934,206)		1,605,508
	UNITED STATES (0.0%)(a)		
	REITS* (0.0%)(a)		
22,927,800	Eagle Hospitality Trust		—(b)
	TOTAL UNITED STATES (Cost \$16,642,078)		—(b)
	TOTAL COMMON STOCKS (Cost \$158,418,774)		133,455,126
	TOTAL INVESTMENTS (Cost \$158,418,774)	97.9%	\$ 133,455,126
	CASH AND OTHER ASSETS IN EXCESS OF LIABILITIES	2.1	2,887,095
	NET ASSETS	100.0%	\$ 136,342,221

* REITS — Real Estate Investment Trust

(a) A zero balance may reflect actual amounts rounding to less than 0.05%.

(b) A zero balance may reflect amounts rounding to less than \$1.

(2025年8月29日現在)

I D Rクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現 評価益	未実現 評価損	未実現 評価損益 (純額)
IDR	JPMorgan Chase Bank N.A.	56,178,835,882	09/30/2025	USD	3,446,850 \$	— \$	(41,750) \$	(41,750)
THB	JPMorgan Chase Bank N.A.	75,969	09/30/2025	USD	2,334	16	—	16
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	44,618	09/30/2025	THB	1,451,780	—	(295)	(295)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	2,598,242	09/30/2025	SGD	3,334,623	—	(6,656)	(6,656)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	571,871	09/30/2025	HKD	4,460,401	—	(803)	(803)
						\$ 16	\$ (49,504)	\$ (49,488)

I N Rクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現 評価益	未実現 評価損	未実現 評価損益 (純額)
INR	JPMorgan Chase Bank N.A.	5,985,813,040	09/02/2025	USD	68,135,659 \$	— \$	(287,106) \$	(287,106)
INR	JPMorgan Chase Bank N.A.	5,985,813,040	09/02/2025	USD	68,263,014	—	(414,461)	(414,461)
INR	JPMorgan Chase Bank N.A.	654,198,129	09/03/2025	USD	7,465,565	—	(50,299)	(50,299)
INR	JPMorgan Chase Bank N.A.	8,425,159,619	09/30/2025	USD	96,660,371	—	(1,278,075)	(1,278,075)
INR	JPMorgan Chase Bank N.A.	8,425,159,619	09/30/2025	USD	95,975,481	—	(593,184)	(593,184)
INR	JPMorgan Chase Bank N.A.	8,425,159,619	09/30/2025	USD	96,050,376	—	(668,079)	(668,079)
SGD	JPMorgan Chase Bank N.A.	15,984,326	09/03/2025	USD	12,461,469	—	(2,914)	(2,914)
SGD	JPMorgan Chase Bank N.A.	88,779,166	09/30/2025	USD	69,174,153	177,202	—	177,202
SGD	JPMorgan Chase Bank N.A.	88,779,166	09/30/2025	USD	69,237,990	113,365	—	113,365
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	68,135,659	09/02/2025	INR	5,985,813,040	287,106	—	287,106
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	67,580,384	09/02/2025	INR	5,985,813,040	—	(268,169)	(268,169)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	7,540,221	09/03/2025	INR	654,198,129	124,955	—	124,955
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	12,336,850	09/03/2025	SGD	15,984,326	—	(121,705)	(121,705)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	69,237,990	09/30/2025	SGD	88,779,166	—	(113,365)	(113,365)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	69,363,004	09/30/2025	SGD	88,779,166	11,650	—	11,650
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	69,174,153	09/30/2025	SGD	88,779,166	—	(177,202)	(177,202)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	95,975,481	09/30/2025	INR	8,425,159,619	593,184	—	593,184
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	96,660,371	09/30/2025	INR	8,425,159,619	1,278,074	—	1,278,074
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	16,180,291	09/30/2025	HKD	126,200,911	—	(22,714)	(22,714)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	1,178,271	09/30/2025	THB	38,338,684	—	(7,781)	(7,781)
						\$ 2,585,536	\$ (4,005,054)	\$ (1,419,518)

J P Yクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現 評価益	未実現 評価損	未実現 評価損益 (純額)
JPY	JPMorgan Chase Bank N.A.	879,081,313	09/30/2025	USD	5,976,949 \$	28,244 \$	— \$	28,244
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	76,349	09/30/2025	THB	2,484,265	—	(504)	(504)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	4,569,092	09/30/2025	SGD	5,864,042	—	(11,705)	(11,705)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	995,381	09/30/2025	HKD	7,763,641	—	(1,397)	(1,397)
						\$ 28,244	\$ (13,606)	\$ 14,638

(2025年 8 月29日現在)

デリバティブ商品の額

取引相手	デリバティブ	デリバティブ	受取担保金*	差入担保金*	純額**
	資産の額	負債の額			
店頭デリバティブ 為替予約					
JPMorgan Chase Bank N.A.	\$ 2,613,796	\$ (4,068,164)	\$ -	\$ 810,000	\$ (644,368)
マスターネットティング契約の 対象となるデリバティブ合計	\$ 2,613,796	\$ (4,068,164)	\$ -	\$ 810,000	\$ (644,368)
資産および負債における 店頭デリバティブ合計	\$ 2,613,796	\$ (4,068,164)			

* Actual collateral received or pledged, if any, may be more than disclosed in the table above.
** Net amount represents the receivable/(payable) that would be due from/(to) the counterparty in an event of default. Netting is allowed across transactions traded under the same legal agreement with the same legal entity.

通貨略称

HKD	-	Hong Kong Dollar
IDR	-	Indonesian Rupiah
INR	-	Indian Rupee
JPY	-	Japanese Yen
SGD	-	Singapore Dollar
THB	-	Thai Baht
USD	-	United States Dollar

マネー・プール マザーファンド

《第33期》決算日2026年 1 月14日

[計算期間：2025年 7 月15日～2026年 1 月14日]

「マネー・プール マザーファンド」は、1 月14日に第33期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第33期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率			
	円	%	%	%	百万円
29期(2024年 1 月15日)	10, 034	△0. 0	—	—	52
30期(2024年 7 月16日)	10, 038	0. 0	73. 4	—	27
31期(2025年 1 月14日)	10, 048	0. 1	80. 9	—	24
32期(2025年 7 月14日)	10, 070	0. 2	60. 5	—	16
33期(2026年 1 月14日)	10, 096	0. 3	65. 4	—	45

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率		
(期 首)	円	%	%	%
2025年 7 月14日	10, 070	—	60. 5	—
7 月末	10, 073	0. 0	62. 3	—
8 月末	10, 076	0. 1	59. 0	—
9 月末	10, 080	0. 1	59. 2	—
10月末	10, 084	0. 1	54. 6	—
11月末	10, 088	0. 2	54. 8	—
12月末	10, 093	0. 2	69. 3	—
(期 末)				
2026年 1 月14日	10, 096	0. 3	65. 4	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

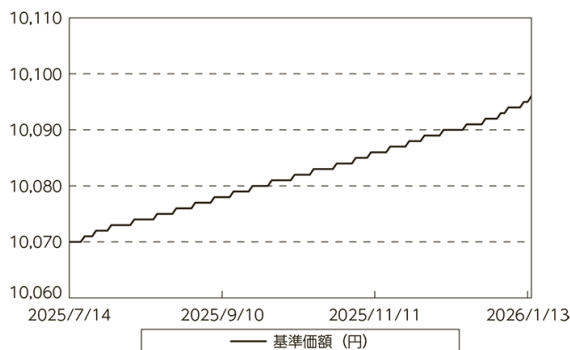
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.3%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 7 月15日～2026年 1 月14日)

該当事項はございません。

○ 売買及び取引の状況

(2025年 7 月15日～2026年 1 月14日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 5,309,206	千円 5,289,493

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○ 利害関係人との取引状況等

(2025年 7 月15日～2026年 1 月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年1月14日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	30,000	29,809	65.4	—	—	—	65.4
	(30,000)	(29,809)	(65.4)	(—)	(—)	(—)	(65.4)
合 計	30,000	29,809	65.4	—	—	—	65.4
	(30,000)	(29,809)	(65.4)	(—)	(—)	(—)	(65.4)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第1338回国庫短期証券※	—	30,000	29,809	—
合 計		30,000	29,809	

(注) ※印は現先で保有している債券です。

○投資信託財産の構成

(2026年1月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 29,809	% 65.4
コール・ローン等、その他	15,744	34.6
投資信託財産総額	45,553	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年1月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	45,553,559
コール・ローン等	15,743,752
公社債(評価額)	29,809,500
未収利息	307
(B) 負債	3,059
未払解約金	3,059
(C) 純資産総額(A－B)	45,550,500
元本	45,118,688
次期繰越損益金	431,812
(D) 受益権総口数	45,118,688口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,096円

<注記事項>

- ①期首元本額 16,414,963円
 期中追加設定元本額 106,574,292円
 期中一部解約元本額 77,870,567円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0096円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

マナー・プール・ファンドVI	41,730,542円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジなし	996,215円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)インド・ルビーコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,602円
合計	45,118,688円

○損益の状況 (2025年7月15日～2026年1月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	172,564
受取利息	172,564
(B) 当期損益金(A)	172,564
(C) 前期繰越損益金	115,035
(D) 追加信託差損益金	796,149
(E) 解約差損益金	△651,936
(F) 計(B＋C＋D＋E)	431,812
次期繰越損益金(F)	431,812

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。